

活動速報はホームページに掲載しています <http://www.garan.ne.jp/ochi>



◀11月4日 東海高ジャズバンド部のミニコンサート

図書館の交流ラウンジにおいて、東海高ジャズバンド部によるミニコンサートが開催されました。

東海高は、昨年参加した第25回スチューデント・ジャズフェスティバル2016東日本大会にて最優秀賞を受賞しており、ふだんはもの静かな館内にジャズの軽快な音色が響き渡り、とてもにぎやかな雰囲気でした。



◀12月4日 東海駅イルミネーション点灯式

村商工会青年部が中心となり、資金集めからデザイン・制作までを手がけた「夢を叶えるイルミネーション」の点灯式が行われました。

駅西口に設置された全長10メートルの「光のトンネル」は、中から見上げるとまた違った雰囲気が味わえます。

2月18日まで設置されていますので、足を運んでみてはいかがでしょうか。



編集後記

「弱い者たちが夕暮れ
さらに弱者をたたく…」
この言葉にピンと来る人は、私と同年代でしょう。若い時代によくカラオケで歌っていたロックバンドの「トレイントレイン」という曲の一節。

去年もさまざまなニュースや事件が世間を騒がせたが、7月に相模原市の障害者福祉施設で発生した刃物による大量殺人事件は衝撃的であった。施設の元職員が建物内に侵入し、刃物によって施設入所者19人の尊い命が失われた。社会的に弱い立場の人間が、さらに弱い立場の人を傷つけたこの事件は、関係者に衝撃を与えただけでなく、現代社会の抱える複雑な諸課題を浮き彫りにした。

「栄光に向かって走る列車」とは何なのだろう？「栄光」のためなら、他者を傷つけても良い訳ではない。明るいニュースが飛び交う1年にしたい。

(S)

VOICE

～ リレーで綴る村民の声 ～



杉本 一等さん
(舟石川駅西在住)

東海村は公園がたくさんあり、新しい遊具もそろっていることがありがたいです。皆さんは「絆」をご存じでしょうか？

高齢者の設備が充実している施設と聞いていましたが、子ども向けにも床暖房を完備した広いフロアや図書館、砂場などもあり、若い親同士にとっても情報交換の場になっています。

2016年は文化センターで「ノージーのひらめき工房ショー」の公演もあって大満足でした。

2017年もこの街とともに良い年になりますように。

年賀状の送付は、公職選挙法により規制されていますので本紙にて、新年のご挨拶とさせていただきます。

わかば通信

東海村議会議員 越智たつや 議会報告



第36号

平成29年1月発行

発行人：越智たつや後援会

日立市幸町2-13-6
(日立製作所労働組合 日立支部内)
TEL 0294(26)0183
FAX 0294(26)0186



▲ 次期衆院選候補の浅野さとし氏と新年の決意

謹賀新年

新年を健やかに迎えることと存じます。
昨年は、皆さまのご支援のおかげで、大変充実した1年を過ごすことができました。

本年も、皆さまの声にしっかりと耳を傾けながら、直面する諸課題の解決に向けて取り組んでまいりますので、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

皆さまにとって本年が、希望に満ちた素晴らしい1年になりますことを、心よりご祈念申し上げます。

越智辰哉

NEWS

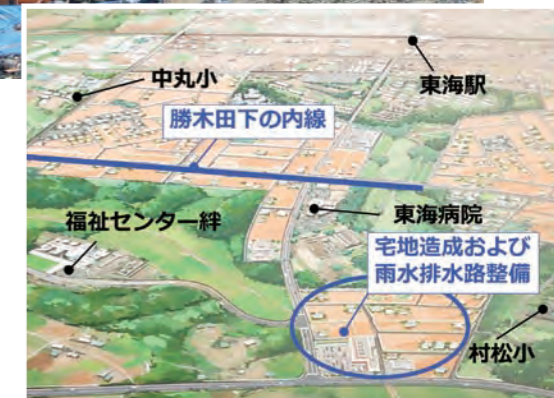
～ 東海村行政の身近なニュースをお伝えします ～

中央地区 土地区画整理 雨水排水路を整備しています

村では、公共施設の未整備市街地や市街化が予想される区域で、土地所有者等から土地の面積や位置などに応じて、少しずつ土地を提供してもらい、これを道路・公園などの公共施設用地などにあてて整備することにより、宅地の利用価値を高めながら基盤整備を行う「区画整理事業」を推進しています。駅周辺の4地区において区画整理を実施していますが、現在は中央地区において大規模な工事を展開しています。

中央地区は平成7年から事業を開始し、総面積82.5ha、事業費ベースで約60%の進捗率となっていますが、今年度は勝木田下の内線の橋りょうを含めた道路整備や村松小前の宅地造成および雨水排水路整備を重点的に実施しています。

中央地区の区画整理事業は、平成34年の終結に向けて段階的に工事を進めていきますが、事業の円滑な推進を求めています。



議会質問を行いました

次年度は学童クラブ定員が大幅超過 子どもの居場所づくりに取り組むべき

➡ 早急に役場全庁あげて検討する

Q. 学童クラブの来年度の申込状況がひっ迫しているとの話であるが、どのような状況なのか?また、これにどう対応するのか?

A. 来年度の学童クラブの在籍数を算出すると白方・舟石川・中丸学童では11~15人程度定員をオーバーし、一方で石神・照沼学童では入所児童数に余裕がある見込みである。そこで、入所できなかった児童をバス輸送により白方から石神学童クラブへ、白方・中丸から白方学童クラブへ輸送することで対応する予定である。

利用者が増えた要因としては、共働き世帯の増加や核家族化の進行に加え、高学年児童における継続利用者の増加が考えられる。また、こうした保育ニーズの高まりは、当面続くものと考えている。

Q. こうした保育ニーズの高まりへの対応は、「学童クラブ」だけで賄うことは不可能である。学校の空き教室の活用を含め、対応策の検討を役場全体で今年度からスタートさせるべき。

A. 「こどもの居場所づくり」については、喫緊の課題だと認識している。本村にとって、「こどもの居場所」はどうあるべきか、そのうえで場所をどう確保するのか、といった視点で早急に役場全体で検討していく。



地域福祉活動の担い手不足が深刻 どのように人材を確保・育成するのか?

➡ まずは、「支え合いコーディネーター」を柱とした施策を展開していく

Q. 第二次地域福祉計画(H23~H27)において、「地域福祉の担い手の発掘・育成」が進まなかったのはなぜか?今後、どのように進めていくのか?

A. 第二次では、高齢労働者の増加など社会情勢の変化もあるが、関係機関・団体のネットワーク構築ができなかったことが主な原因である。

よって、第三次では「支え合いコーディネーター」を柱とした施策を展開する。「支え合いコーディネーター」は、介護保健制度の改正により自治体に設置が義務付けされたものであり、関係団体の相互交流の調整役となることから、担い手の発掘・育成に成果を挙げることが期待される。

Q. 地区自治会を中心として地域活動を行ってきたが、さまざまな団体が横断的に係わる「まちづくり協議会」への移行が、地域福祉の担い手確保に向けた近道になるのではないかと?

A. 昨年度、村では各地区自治会に対して、担い手の確保を図りながら、地域の特性を生かした活動と組織にするため、「まちづくり協議会」への移行を提案したものの、移行には至っていないのが現状である。各地区自治会の自主性・自立性を前提に協議を進めており、地域の担い手の確保につながる取り組みを支援していきたい。

「東海駅西広場再整備」 に向けた基金を設置

平成28年12月定例会を12月1日から12月20日までの会期で開きました。

今議会では、「東海駅西広場再整備」に向けた基金設置に関する条例制定など27件の議案について慎重審議した結果、全て原案どおり可決しました。

補正予算 注目すべき追加事業

●村道側溝清掃委託(700万円)

8月の集中豪雨で冠水した箇所側溝清掃を実施。本年度は11箇所(約600m)を先行実施し、残りは新年度予算で対応する。



●テニスコート人工芝張り替え工事(800万円)

芝の摩耗に加え、8月の集中豪雨で大規模な剥離が発生したため、人工芝を貼り替える。(全10面のうち2面)



本定例会では、平成29年度および30年度に予定している大型公共事業に向けた予算を確保するため、基金として積み立てを行う条例改正および補正予算が計上されました。該当する事業は、①東海駅西広場再整備事業、②(仮称)歴史と未来の交流館建設事業であり、それぞれ3.2億円と7億円の基金積み立てを行い、次年度以降の事業実施に備えることとなります。

また、8月末の集中豪雨により道路冠水した箇所における側溝清掃作業の先行実施や、テニスコートの人工芝張り替えについての補正予算も計上されていました。

これらの予算について、予算委員会で事業内容について精査した結果、いずれも今年度中に実施すべき必要な事業予算であると判断し、可決しました。

アイダホ訪問団として参加しました

10月2日から11日間の日程で、東海村と国際親善姉妹都市盟約を締結している、米国アイダホフォールズ市との交流事業に議会派遣として参加しました。

現地では、日々の歓迎行事に加えて、市長の表敬訪問や図書館や福祉施設などの公共施設見学、さらには国立自然公園への小旅行など、多くの行事を消化していくなかで現地会員の方々との交流を深めることができました。とりわけ、4日間ホームスティさせていただいたバルさんとの出会いは、私にとって最高の思い出となりました。

姉妹都市交流の長い歴史と両市村間の深い友情を築き上げてきた、関係者のこれまでのご尽力に心から感謝するとともに、交流事業のさらなる深化を願うばかりです。



▲ ホームスティでお世話になったバルさん